

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年6月17日（金）10時30分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

大辻室長補佐、新井安全審査官、横山係長、高木係長

澁谷企画調査官、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

黒川原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 高性能多核種除去設備（以下「高性能ALPS」という。）の使用前検査受検について
    - ✓ 今後の処理途上水の二次処理等に向けて増設ALPS・既設ALPSに加え、高性能ALPSを含めた設備運用を行うため、2021年11月より高性能ALPSの稼働準備を進めていること
    - ✓ 核種の分析等、使用前検査受検に向けた62核種の放射能除去性能確認が進捗していること
  - G4北・G5タンクのインサービスについて
    - ✓ ALPS処理水の海洋放出に向けた準備のため、K4タンク群の水抜きを行いG4北・G5タンク群に移送する予定であったが、K4タンク群は水抜きせず改造が可能であることが判明したこと
    - ✓ ただし、測定に際して実施する『循環・攪拌』のため、約1,650m<sup>3</sup>の水抜きが必要であり、K4タンク群からG4北タンク群に移送する予定であること
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、主に以下を求めた。
  - ✓ 高性能ALPSの除去性能の確認に係る実施計画の記載の変更について、直近の既設ALPSに係る同様の記載変更と異なる箇所がある場合には説明すること。

6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール（2022年5月26日現在）
- 水処理設備運転状況、運転計画（2022年6月3日～2022年6月30日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2022年6月3日～2022年6月16日）
- 高性能多核種除去設備の使用前検査受検について
- G4北・G5タンクのインサービスについて

以上